

明石市立大蔵中学校だより「2021年8月10日(第121号)」

書あり 師あり 友ありて



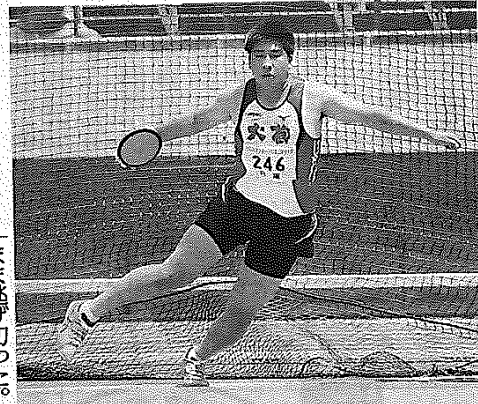
## 高瀬さんが近畿チャンピオンに！ 剣道男子団体も近畿第3位に！！

学校長 平田 高之

8月6日より「第70回近畿総合体育大会」が行われ、陸上競技第1日目・男子円盤投げに市・東播・県チャンピオン、さらには明石市中学生記録・明石市及び東播総体大会記録を樹立した高瀬蒼太さんが出場しました。2投目に39m97を投げ、2位以下を4m以上離して堂々の優勝を飾り「近畿チャンピオン」に輝きました！本校陸上部の個人優勝は28年ぶりの快挙です！！神戸新聞にも大きく取り上げて頂きましたのでご紹介いたします。なお、神戸新聞には転載許可を得ています。



陸上  
第1日、ユニバー記念競技場、陸上男子共通円盤投げを制した大蔵の高瀬は、ラグビーとの二刀流。「他府県の選手と一緒に大会に出たのは初めてで緊張した。記録には満足していないけど、優勝ははじめても満足」と笑顔を見せた。



陸上男子共通円盤投げ決勝 39m97で初優勝した大蔵の高瀬蒼太

### 高瀬(大蔵) 円盤投げ 優勝 共男子

で勝つ喜びも大きいけど、自分一人で成し遂げる喜びも大きい」と感じている。  
東播地区大会で42歳30の大会新記録をマーク。結果が一気に始まったため、高校の進路を悩んでいるという。「円盤投げは全中(全国中学生体育大会)がないので、秋のジュニアオリンピックに出る全国制覇を狙いたい」。円盤に懸ける気持ちも一層高まりそう。

(山本哲志)

2日目には、男子砲丸投げに県総体2位だった後藤さんも優勝を目指し出場しました。近畿大会の緊張感から11m36と自己記録には及ばず、残念ながら予選10位で決勝に進むことはできませんでした。

8月7日、剣道部男子は、3チームによる団体戦予選リーグに臨みました。第1試合の対戦相手は京都府代表の強豪久御山中学校でした。2分1敗の不利な状況から、副将鶴本さんが一本勝ちで追い付き、大将松野さんが近畿総体個人戦優勝の相手大将に見事な面での一本勝ちで逆転勝ちをおさめました。続く第2試合では、大阪府代表四天王寺東中学校に3勝2分で快勝し、予選リーグを2連勝で突破し見事ベスト4進出を決めました。

東播吹奏楽コンクール、美術部合同展、総合体育大会が終わり、75回生が中心となって行ってきた部活動のバトンを76回生に引き継ぐことになりました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のために多くの制限がある中で苦しい時もあったと思いますが、諦めずに良く頑張ってくれました。75回生の皆さん、本当にありがとう。

生徒の皆さんも見たと思いますが、東京オリンピック出場選手の競技後インタビューでは、ほぼすべてのアスリートから、このような状況下で大会が開催されたこと、そして、周りのサポートの方々への感謝の言葉が聞かれました。

75回生の皆さんには、無観客やエントリーメンバーだけの参加等の制限はありましたが、さまざまな大会を無事に開催するために多くの方々の努力があったことを忘れないでほしいと思います。そして、家族をはじめとする、今までお世話になったさまざまな方々からのサポートへの感謝の気持ちを持って、次の目標に向かい力強く進んでほしいと思っています。2年5か月お疲れさまでした。

## 努力の証・近畿総体出場記念横断幕

県総体の結果、「第70回近畿総合体育大会」への出場を決めた男子剣道部、陸上競技部の高瀬さんと後藤さんの活躍を祈念し、大蔵中学校クラブ振興会クラブ基金を活用して横断幕を作成させて頂きました。本校卒業生でプロ野球ドラフト指名を受けた山崎投手、女子棒高跳び日本高校記録を打ち立てた古林さんと並んで学校正門に飾っています。

